

Pick up News

近大高専生の思いをカタチに ——

学生会長の取り組み

もっと自由な高専 LIFE を！

「学生自身が学校を変えることができる」を体現

生悦住 一樹 学生会長

元々は生悦住会長自身が昔からの校則に少し「違和感」を感じていたことが始まりでした。例えば頭髪検査。男女それぞれの頭髪検査があるだけでなく、その内容も少し古風なもの。生悦住会長だけでなく周囲からも違和感の声が上がったことで、校長先生にも直談判をし、校則を変えることに成功しました。その後、校内のスポーツ大会である「KUTCNo.1 グランプリ」のマンネリ化を受け、校内実施ではなく地域のグラウンドを借りて実施。学生からは喜びの声がたくさん届いたという。「何かを変えたいのなら自分たちが声を出して動いていけば先生方はしっかり向き合ってくれる。そのことを身をもって体感しました。だからこそ自分が動くことで高専生の学校生活がよりよくなるなら、これからは様々なことを取り組んでいきたい」と生悦住会長は話します。



総合システム工学科／電気電子コース

生悦住 一樹 学生会長



学生会は総勢 34 人在籍。KUTC No.1 グランプリや高専名張祭などを盛り上げるだけでなく、高専生活をよりよくするため日頃から様々な活動を行っています。